

## 年次総会 2023：ご招待

ゲーテアヌム、2023年2月17日

親愛なるアントロポゾフィー協会の会員の皆様

この手紙と議案書により、来るべき3月31日から4月2日までゲーテアヌムで開催される年次総会に、私たちは皆様に心からご招待します。この年次総会は、アントロポゾフィー協会のさらなる発展のための力強い一歩となることを意図しています。2022年12月31日から2023年1月1日までの夜を徹した体験は、アントロポゾフィー協会にとって特別な意味をもつ2023年への決定的な始まりを意味しています。私たちはこの体験と臨時総会について、前回の手紙 ([anthroposophie.org/de/newsletter/letter-to-the-members-20-January-2023](https://anthroposophie.org/de/newsletter/letter-to-the-members-20-January-2023)) でお伝えしました。

### 2023年に向けての、私たちの目標は何でしょうか？

私たちは、アントロポゾフィー協会が、いかにして本来あるべきコスモポリタンの世界協会になっていくかという課題に直面しています。近年の動向は、アントロポゾフィー、精神科学自由大学、ゲーテアヌムの担い手として、世界協会がいかに必要であるかを示しています。

今年の年次総会に続いて、近未来の方向性を指し示すことができる2つの主要な催事が開催されます。9月27日から10月1日にかけて開催されるゲーテアヌム世界会議 ([www.goetheanum.world](http://www.goetheanum.world)) では、「世界運動を新たにかたちづくる」と題して、アントロポゾフィーの内外で活躍する人々とともに、今後数年間に待ち受ける課題と挑戦に欠かせないステップについて話し合い、一致点を見出したいと考えています。そして、2023年12月27日から30日までゲーテアヌムで開催されるクリスマス会議では、アントロポゾフィーを支える共同体として、100年という現実から精神科学自由大学とアントロポゾフィー協会に生を与えたインプルス（衝動）が再び体験されることになるでしょう。

年次総会、ゲーテアヌム世界会議、クリスマス会議という2023年に予定されている3つの催事を通して、外的に造形しかたちづくる諸問題の課題の中に働いている精神存在を考慮に入れた、未来への力が現れることが可能になります。それは、アントロポゾフィー協会の実りある世界的な活動と、現在の文化的・社会的な生活とのつながりのための種に関するものとなるでしょう。

### 1月の臨時総会から、何が起こったのでしょうか？

ハラルド・イエツケル氏による進行で、3回の会員対話フォーラムのうち2回が開催されました。現地では約60名の会員が出席し、オンラインで30名以上が参加しました。彼ら全員に共通していたのは、より多くの参加と総会での雰囲気の変化への希望でした。これらのフォーラムの報告は、2023年の年次総会で共有される予定です。

今度の年次総会では、20以上の動議が提出されました。そのすべてが投票できるわけではありませんが、会員の皆様の協会に対する多様な関わりを反映しています。年次総会でその細部まですべてを扱うことは困難であるため、私たちは事前に動議の提出者全員を招待し、彼らの関心事を理事会と共有する

ように試みます。

### 年次総会 2023 に向けて私たちが計画していること

金曜日（3月31日）の年次総会では、精神科学自由大学の研究の取り組みや現在の計画、各国の邦域協会の状況、会員からのインプルス（議題案参照）に充てられます。

土曜日（4月1日）午前中の第一部は、理事会からの報告、財務状況、監査報告、2022年の理事会の解任に充てられます。

その後、ペーター・セルク氏から「アントロポゾフィーのための世界協会に関するルドルフ・シュタイナーの意図」について講演していただき、理事会のメンバーが今後のステップを詳細に説明していきたいと思えます。

午後は、2つのテーマが年次総会での協議の中心となり、提出された動議は、以下の文脈の中で可能な限り対処したいと思えます：

#### 議題 1：世界協会をいかに今後実現していくことができるでしょうか？

- A. 定款の中に各国代表者会議を含めることに関する合意形成。
- B. 地理的な理由で年次総会に出席できない会員の参加に向けた次のステップに関する議論。

#### 議題 2：アントロポゾフィー協会の全体的な有機体の形成

- A. 年次総会は、定款に関するコロキアムの結果（「文書に基づく定款に関する出来事の年表」）を、未解決の質問を含めて確認し、これをもって本件を終了する。
- B. 同時に、アントロポゾフィー協会の全体的な有機体のために、精神的、法的、経済的側面を考慮した、相応しく、今日的な姿を見出すための開かれたプロセスが導入される。

定款に関する動議は、その後、この定款のプロセスで対応されるか、または参照されます。

日曜日（4月2日）は、上記で言及された今年のさらなる取り組みに充てられます。

ヴェレダの株式と寄付に関する複雑な問題については、臨時総会とその後の会員フォーラムでの協議において、現時点では決定する必要はなく、改訂された代替案にも明確な根拠はないことが示されました。納得のいく解決策の模索は対話形式で継続され、ヴェレダ社も参加する予定です。

理事会は、アントロポゾフィー協会に関する問題について、関心をもつ会員とハラルド・イエッケルとの毎月の対話フォーラムを1年間継続することを提案します。

### 年次総会 2023 に必要な参加登録

年次総会はゲーテアヌムで開催され、複数の言語でライブストリームを視聴することができます。諮問としての電子投票も可能です。今年は、現地参加を希望する会員の皆様は登録が必要です！4月2日に「パルチヴァル」が初演されるため\*、年次総会は500席しかない礎石ホールで開催されます。登録は以下のリンクを使用してください：[tickets.goetheanum.ch/3GV](https://tickets.goetheanum.ch/3GV)

会員の皆様は、期限内に提出された動議とその根拠をゲーテアヌムのウェブサイトのログインエリアで確認できます（[www.goetheanum.org/login](http://www.goetheanum.org/login)）。

協会のグローバルな現実に照らして、2023年の年次総会には、私たちの協会にとって非常に重要な今年のさらなるステップとして、できるだけ多くの会員が出席することを願っています。

心からのご挨拶とともに

ユストス・ヴィティツヒ、コンスタンツァ・カリクス、マティアス・ギルケ、ウーリ・フルター  
：ゲーテアヌム理事会

\*本年度の公演はすべて完売し、チケットは残っていません。2024年と2025年にはさらなる公演が予定されています。

Anthroposophie weltweit Nr.3/2023 より（アントロポゾフィア編集部 訳）